JAグループ
耕そう、大地と地域のみらい。

未来への心をつなぐパートナー
農をはぐくみ地域をつなぐ

JAふくしま未来
広報誌

みらいろ
MIRAIRO

2020年 7月号
VOL.53

特集
第5回通常総代会と代表理事あいさつ

JAふくしま未来

今月の表紙

伊達地区きゅうり生産部会の皆さん

伊達地区きゅうり生産部会の会員数は567人。作付面積は83.7ha。全体のJA販売高は約35億円にのぼります。部会では、GAPの認証取得（現在、伊達地区では40人が取得）や機械共選の導入など、安全・安心をより高めた生産に取り組み、第49回日本農業賞集団組織の部で優秀賞を受賞しました。

私たちが作った、「甘くて瑞々しい日本一の夏秋キュウリ」はJA農産物直売所で購入できます。ぜひ、食べてください！！

Contents

⑫ 旬の生産者　表紙の人
⑭ 特集
第５回 通常総代会開催
代表理事あいさつ
⑱ 家族農業者紹介
⑩ みらいろトピックス
⑮ 営農情報
⑳ みらいろーど
㉒ みらいろ作品展
㉔ 元気にすくすく「みらいっ子」
㉕ コラム
㉖ みらいろポイントカード協力店
㉗ 未来を拓く協同組合
㉘ ドローンで見るふくしま未来
お知らせ
㉚ クロスワードパズル
㉛ 家庭菜園のススメ
㉜ 今旬レシピ
今月の直売所出荷者さん

I ♥ 農業
旬の生産者
表紙の人

キュウリとカボチャの苗を接ぎ木する船山副部会長

自家育苗、品種の選定で納得のいく高品質栽培

高校卒業後すぐに親元就農した船山さん。就農時はモモ、花卉、水稲を栽培していましたが、平成17年に周りからの勧めもありキュウリ栽培を始めました。今年度から伊達地区きゅうり生産部会の副部会長を務め、苗、ぼかし肥料が自作のもので、産地に適した優良品種の選定による高品質栽培に取り組んでいます。

キュウリ栽培は５ａの露地栽培から始まりました。周りのキュウリ農家から接ぎ木や栽培管理などを教わりながら、年々面積を増やし今では、ハウス16ａ、露地７ａの23ａまで拡大しています。苗は、カボチャにキュウリを接ぎ木したものを今でも自分で作っています。肥料は、船山さんが所属する「粟野ぼかし肥料組合」で、ＪＡの子会社みらいアグリサービスの大豆と鶏糞を原料にしたぼかし肥料を使用。昨年、成分検査を実施しキュウリにとって最適な肥料だということが分かりました。船山さんは「自分で好きなようにできて、納得のいくものが作れる」と話します。

船山さんは、優良品種を選定するために新品種を精力的に導入しています。その中で産地に適した品種を選定し高品質栽培に取り組んでいます。今年から機械共選の利用を始める予定で、期間雇用を取り入れ面積の拡大を目指します。

伊達地区／伊達市梁川町

伊達地区きゅうり生産部会
副部会長
船山　勝彦さん（56歳）
栽培品目：キュウリ・スナップエンドウ・水稲
栽培面積：23a・10a・1.5ha

旬の食材

キュウリ

涼をもたらす野菜の代表。成分の約95%が水分で、カリウムが比較的多く含まれています。カリウムは利尿作用があるので、むくみの改善が期待できます。また、ぬか漬けにすると、ビタミンB1が増加し、疲労回復にも効果があります。

色つやが良く、ずしりと重みがあり、イボがチクチクするくらい尖っているものが新鮮です。

第5回　通常総代会開催

5月26日、第5回通常総代会を福島市のJA福島ビルで開きました。令和元年度事業報告や令和2年度事業計画などの全6議案と付帯決議、さらにコロナ禍の克服と食料安全保障の確立に向けた特別決議を原案通り可決・承認しました。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、総代には書面による議決権行使をするなど感染防止策を講じました。本人出席36人、書面出席956人の計992人が出席。会場は2つに分けモニターを設置して中継しました。

元年度は、第2期みらいろプランの初年度として「創造的自己改革へのさらなる挑戦」をスローガンに『地域農業振興戦略』『組織基盤強化戦略』『経営基盤強化戦略』を掲げ、地域を守る未来のJAづくりの実現を目指し事業を展開してきました。農業振興では、JA独自の農業振興支援事業を継続実施し、前年を上回る288億円の販売実績を挙げることができました。

2年度は、農業振興と地域活性化の実現を目指し、地域に必要な存在であり続けるために「構造的自己改革」を実践して参ります。

総代会では、菅野孝志組合長が「全役職員が方向性を一つにし、『農業者の所得増大と農業生産の拡大』『地域の活性化』『構造的経営改革による経営基盤強化』に取り組み、農業振興と地域活性化の促進のため、経営資源を集中させ組織事業運営にあたっていく」とあいさつしました。

議　　案

第1号議案　令和元年度事業報告及び剰余金処分案の承認について

報告事項　令和元年度貸借対照表、損益計算書及び注記表の内容並びに会計監査人の監査報告及び監事の監査報告について

第2号議案　令和2年度事業計画の設定について

第3号議案　令和2年度における理事及び監事の報酬について

第4号議案　定款及び定款附属書総代選挙規程の一部変更について

第5号議案　信用事業規程の一部変更について

第6号議案　農地利用集積円滑化事業規程の廃止について

特別決議
　コロナ禍の克服と食料安全保障の確立に向けた特別決議（案）

構造的自己改革の実践
持続可能な農業生産の確立を目指す

JAを巡る環境は、情勢・動向・収支見通しの何れも厳しい状況が増しております。JAは「持続可能なJA基盤の確立・強化」を目指し、このような危機を突破し、多様な組合員の声に応え、願いを実現していくため、経営戦略会議や地区経営協議会等を開催し対応して参りました。

しかしながら、マイナス金利の継続は経営を直撃するとともに、人口減少等による競争激化、公認会計士監査の導入に伴う厳正な内部統制運用評価が求められております。

今後、さらに環境変化のスピードは想像を超え、自然災害の恒常化も懸念されることから、今までに増して危機感を持った構造的な経営改革の断行が喫緊の課題となっております。また、本年度は合併5周年を迎える事から、様々な催しや事業を通じて地域農業振興と地域社会活性化を一層進捗させます。

ついては巡る内外情勢や環境を踏まえ、基本方針を次のとおり掲げ取り組みをすすめます。

環境変化に適応しながら、「持続可能な農業生産の確立」を目指し、地域農業の振興と地域社会を活性化させ、未来へつなげていきます！
そのために必要な組織の体制・風土・人材づくりをすすめます！
地域の未来につながる「創造的自己改革」を継続し挑戦していきます！

1．地域農業振興戦略

○地域農業を支える多様な担い手づくり
○営農指導技術、販売・流通対策、農業経営確立などの様々な支援を強化
○品目別販売戦略を再構築し有利販売の取り組み強化
○農業労働力提供体制の整備、福島ブランド再構築と農業経営効率化に向けたGAP第三者認証の取得拡大

2．組織基盤強化戦略

○組合員訪問活動や目的別組織活動を通じた組合員との接点強化
○正組合員拡大対策
○准組合員の積極的な参加と利用を促進するメンバーシップの強化
○高齢者福祉活動や食農教育を通じた次世代育成と地域貢献活動の積極的な取り組み
○総合事業を通じ協同の力で豊かでくらしやすい地域社会の実現に向け行政との連携

3．経営基盤強化戦略

○抜本的かつ構造的な経営改革を断行し、より強固な経営基盤を確立
○コンプライアンス経営の浸透と内部統制の整備
○JA総合事業の継続展開・優位性発揮により、組合員の農業とくらし全般に貢献する
○内部統制を遵守した事業の取り組みと検証に努める
○拠点、施設再編（機能再編・統合）に向けた拠点再編計画の策定

「優績組合員等表彰」受賞者（敬称略、順不同）

日頃事業運営に協力を頂いている、組織代表者及び組合員の皆様に感謝の意を表するとともに、組織基盤の強化並びに組合員とJAの一体的事業運営を進めることを目的に表彰する。

◆事業推進功労者表彰

本店部会連絡協議会
なし部会　前協議会長　大和田一則
きゅうり部会　前協議会長　橘　一郎
もも部会　前副協議会長　齋藤正則
ぶどう部会　前協議会長　渡邉英直
春菊部会　前協議会長　阿久津福雄
にら部会　前副協議会長　林　隆雄
資産運用部会運営委員会
　前副委員長　渡辺　武
青年部・農業後継者協議会
29年度会長　伊藤広明
30年度会長　門馬良匡
元年度会長　横江悠紀

◆販売事業優績組合員表彰

福島地区
　佐藤富夫、渡辺健介、但木秀徳、長谷部省一、伊藤英世
伊達地区
　星野　廣、野田　譲、井砂善栄、高橋幸三、大橋秀規
安達地区
　白旗善春、斎藤慎也、遠藤義博、加藤康喜
　株式会社　サスティナブルファーム
　代表取締役　佐藤一之
そうま地区
　佐藤高志、寺澤白行、菊地洋一、伊東伸悟
　農事組合法人　日下石ファーム
　代表理事　久米本米夫

◆購買事業優績組合員表彰

福島地区
　梅宮義昭、今野拓也、大内孝雄、菊田和典、早川康之
伊達地区
　五幣治男、大橋克也、三瓶一彦
　農事組合法人　大関水稲作組合
　代表理事組合長　澁谷武雄
　株式会社　松葉園　代表取締役
　大橋松太郎
安達地区
　鈴木廣直、齋藤正剛、泉　佳男、大波幸一、三浦充雄
そうま地区
　山田　豊、合同会社　飯豊ファーム
　代表取締役　竹澤一敏
　株式会社　飯崎生産組合　代表取締役
　水谷　隆
　株式会社　南部ニューファーム
　代表取締役　前田一郎
　株式会社　門馬農園　代表取締役
　門馬博之

◆優良集落営農組織表彰

福島地区
　野田果樹共防　笹木野原第2班
　班長　阿部栄一
伊達地区
　有限会社　穂友　代表取締役　梅澤博之
安達地区
　農事組合法人　アグリ大日　代表理事
　渡辺典夫
そうま地区
　農事組合法人　グリーンファーム磯部
　代表　唯野哲夫

代表理事あいさつ

会長理事　菅野孝志

盛夏の候、組合員皆様方には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

6月29日を持ちまして代表理事組合長を辞し、会長理事（JA福島五連会長職務専念）に就任させて頂きました。

平成28年3月1日、小雪舞う中、9万5千人の組合員の期待を一身に受けJAふくしま未来が誕生致しました。新組合誕生にあたり「農業所得の増大、農業生産の拡大、賑わいと活力ある地域を」創りたいと、心ひとつに組合員・利用者・地域の皆様方の「生業と暮しに寄り添い」4年4ヵ月経過致しました。組合員はじめ地域の方々・役職員が誠心誠意努力してきたことが、小さな実を結び確かなものに成長したと考えます。この間、ご指導ご鞭撻賜りましたことに感謝申し上げます。

時は、平成から令和へ、穏やかにして豊かさを求めるに相応しい新たな時代と期待致しましたが、10月の台風災害、令和2年年明け早々からの新型コロナウイルス感染を受け災害尽くめの幕を開けてしまったのかも知れません。

組織運営には、山（光＝合併初年の成果で共済大賞や本年度までに農業振興支援対策20億円）と谷（影＝不祥事の発生）があるものですが、組織に事業に活動に施設に組合員利用者が集まり賑わうことが一番大切なのです。①地域農業振興②組織基盤強化③経営基盤強化を成し遂げ、創造的自己改革を実現するためにも「組合員力、役員力、職員力」を高める「人づくり」が基本です。

東日本大震災・原発事故や台風災害、コロナ禍、史上最大の農畜産物市場開放等厳しさ増す中ですが、食料安全保障の確立とSDGsの実現に向け、担い手づくりを軸に賑わいある地域創りのために「聴いて、見て、考え、夢見て、成し遂げる」ことに「本気力」で挑戦し続けます。

代表理事組合長　数又清市

JAふくしま未来が誕生し5年目を迎えることが出来ました。

この間、組合員の皆様をはじめ、地域の皆様のご支援ご協力を賜り厚くお礼と感謝を申し上げます。第5回通常総代会はコロナ禍での感染防止対策の観点から書面議決を基本に総代の代表者による開催と致し全議案ご承認を賜りました。厚くお礼を申し上げます。

さて、菅野組合長が五連会長に専任する事となり6月開催の理事会におきまして代表理事組合長にご推挙を頂き就任を致しました。今後共皆様方のご支援とご協力を衷心よりお願い申し上げます。

農業・経済を取り巻く環境は世界的に新たなコロナ禍での課題や長期にわたる金融のマイナス金利政策等大きな局面を迎えている状況下にあります。そのような中で「農を基軸とした創造的自己改革に挑戦」するとともに東日本大震災・福島第一原発事故から10年目を迎え未だに根強い農畜産物における風評被害対策、当管内の農畜産物は基幹となる品目、水稲・果樹・野菜・花卉・畜産等バランス良く栽培がされております。その中でもJA販売高として先人が作り上げた「日本一の品目、モモ・夏秋キュウリ・あんぽ柿」の3品目が最大の産地です。産地としてこの強みを活かし更に組織力を強固なものとして構築して参ります。また、営農再開地域における新たな構築も含めた体制整備が急務であります。「食料・農業・農村基本計画」の改正により担い手の育成・確保、中小・家族経営等の多様な経営体が地域で重要な役割を果たしている実態を踏まえた農業の重要性、国産農畜産物の国民への醸成、そして「生命産業」としての地域農業に大きく関わるJAの重要性が一層認識され、地域・農業者・行政・関係機関と連携を図り進めて参ります。

結びに組合員の皆様をはじめご利用の皆様・地域の皆様の更なるご活躍・ご隆盛をご祈念申し上げご挨拶と致します。

代表理事専務（営農経済担当）　濱田賢次

今年も暑い夏の到来とともに、モモの出荷も始まり農家の皆様には多忙な日々をお過ごしの事と思います。

さて、世の中はコロナ危機一色で有りますが農畜産物販売にも影響が出て来ております。とりわけ各種イベント及び外食産業の営業自粛による、花卉・牛肉等の販売額低迷は深刻な事態と捉えており、今後果樹及び蔬菜等の販売が本格化する事からオンラインを活用した販売対策、また「持続化給付金」の相談業務等を通した農業所得の安定化に努めて参ります。

又、いつの世も農業を取り巻く環境は時代の変遷と共に変化を求められており、現代は農業機械抜きに農業の維持管理は困難な状況です。片や農作業中の事故も近年多発しており、建設業の事故よりも農作業中の事故が上回っているとの報告もあり、国民の食糧生産を担う農家が痛ましい事故に遭遇しないよう、危険な圃場の調査等の取り組みが喫緊の課題なのではと認識しております。

結びになりますが、JAの主人公であります農家組合員の声や思いに真摯に向き合い、厳しい経営環境の中ですが健全な運営に努めて参ります。

代表理事専務（金融共済担当）　三津間一八

昨年は新殿出張所並びに梁川総合支店において現金紛失が発生したことに対しましては、組合員の皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけする事となり、心より深謝申し上げます。

また、台風19号では、当JA管内では甚大な被害が発生し、被害に遭われた組合員をはじめ利用者の方々に心からのお見舞いを申し上げます。

JA共済お支払い件数は3，000件を超え、お支払いした共済金は、91億円となりました。改めてJA共済事業の大切さを痛感致しました。

金融事業では、「預けて安心ふくしま未来」をモットーに推進をしておりますのでご来店を心よりお待ちしております。

さて今年度は、新型コロナウイルスの蔓延により農畜産物の価格が心配でございますが全力を挙げ販売に努めて参ります。今後においてもJAを取り巻く環境が厳しくなることが予想されますが、非力ながら誠心誠意努めて参りますので皆様方のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに組合員をはじめ利用者のご健康ご多幸をお祈り申し上げます。

代表理事専務（総務担当）　宝槻直志

過日行われました第4回理事会で、代表理事専務に推挙頂き総務を担当することになりました。農業・JAを取り巻く環境を鑑みますと、身の引き締まる思いでいっぱいであります。

第2期みらいろプランの2年目として、第5回通常総代会で承認されました「地域農業振興」、「組織基盤強化」、「経営基盤強化」の3本柱の戦略遂行を組合員の御理解・御協力により進めて参ります。特に、コロナ禍により世界的に景況感が下降気味の中、営業形態、生活様式、消費動向等が大きく変わろうとしています。JAとしても変化を敏感に捉え、情報発信を的確に行い、役職員一丸となってこの難局を乗り越えていく所存です。

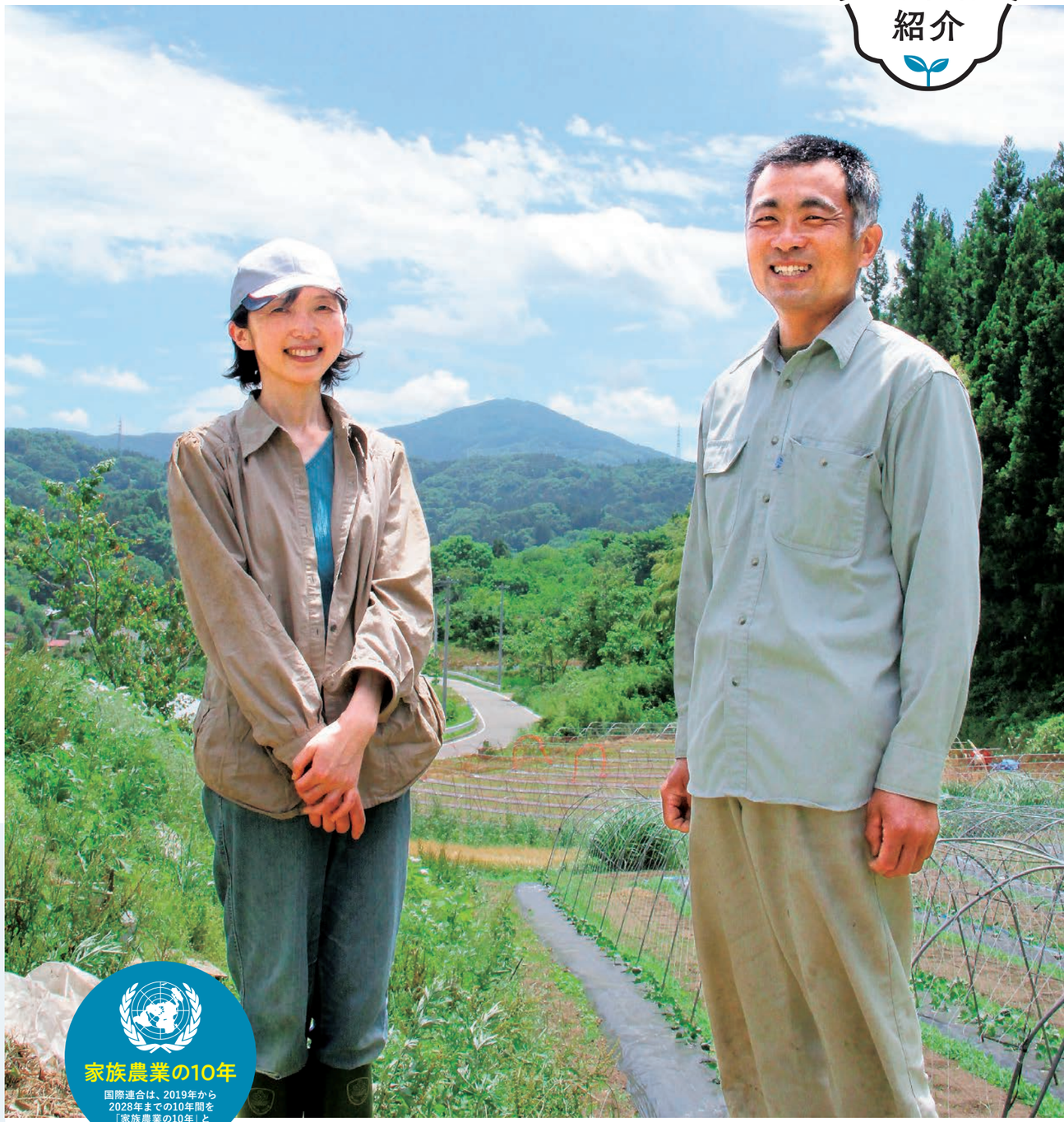
また、日銀によるマイナス金利等の金融緩和政策の長期化により金融事業は、過去の延長線上の考え方では持続可能な経営基盤維持が困難な状況となっています。当面、拠点・施設の再編が喫緊の課題となっており、丁寧な説明と対話によりご提案して参りますので、組合員の負託に応えるためにも、そして地域と共に未来に歩み続ける組織であるためにも、ご理解を賜りますようお願い致します。

微力でありますが、今後とも皆様のお力添えよろしくお願い申し上げ就任の挨拶とします。

家族農業者紹介

いつまでも続けていける「農」と「暮らし」を

二本松市　関（せき）　元弘（もとひろ）さん(49)、奈央子（なおこ）さん(46)



家族農業の10年
国際連合は、2019年から2028年までの10年間を「家族農業の10年」と定めました。

INTRODUCTION

二本松市戸沢で野菜（有機認証圃場1ha）を栽培する関さん家族。ほうれん草やスナップエンドウ、キュウリなど1年を通して少量多品目栽培に取り組んでいます。夫婦で協力し、地元のスーパーやJAへ出荷しています。

トマトの生育状況を確認する元弘さんと奈央子さん

農水省から専業農家

以前は農林水産省に勤務していた関さん夫妻。2人共に食と農に興味があり「農業がしたい」と平成18年に脱サラ。元弘さんが在省時代の人事交流で、旧東和町役場へ勤務したことをきっかけに、東京から現二本松市へ移住し就農しました。

「人と地球に優しい農業」をモットーに化学肥料・農薬を使わない有機栽培にこだわっています。作業は品種ごとに分担して行い、お互いに声を掛け合い二人三脚で取り組みます。

夫婦共通の趣味は「農業」。「仕事そのものが楽しい」と笑顔で話してくれました。

消費者へ「旬」を届ける

関さん夫妻は消費者の皆さんへ季節も届けたいと少量多品種栽培に取り組んでいます。元弘さんは「年間を通して多種多様な農産物を出荷することで旬を感じてもらいたい」と奈央子さんと同じ目標のもと日々の作業にあたります。また、今年から農業研修生の受け入れ活動や近隣の休耕地整備も積極的に取り組み始め、「今後農業を志す後継者のために『道筋』をつけていきたい」と意気込みます。

ナスの定植をする奈央子さん

Future

～オリジナル発泡酒のななくさビーヤ～

元弘さんは農閑期、自宅に隣接する醸造所でオリジナル発泡酒の「ななくさビーヤ」を製造しています。農家として地元へこだわりたいと原料も福島産のオール福島ビール作りを研究しており、この度完成。福島駅西口の複合施設「コラッセ福島」で販売しています。昨年からは地元農家に原料の麦作りを依頼し「オール福島産を少しずつ増やしていきたい」と意気込みます。

元弘さんのこだわりと愛情がつまった「ななくさビーヤ」

みらいろ トピックス

6月上旬から7月上旬にかけての出来事を紹介します。

TOP NEWS

6月17日

産地情報ライブ配信システム全国に先駆け導入
産地情報「見える化」 園地にライブカメラ設置

JAは、市場関係者がスマホなどで圃場の生育状況をリアルタイムで確認できる「産地情報ライブ配信システム」を全国に先駆けて導入しました。福島市の桃畑などに7台のライブカメラを設置。新しい情報交換のツールとして産地情報の見える化を目指し、有利販売につなげていきます。

ライブカメラは、22日までに福島市・伊達市・桑折町・国見町のモモ畑に5台、伊達市のキュウリハウスに1台、福島市のナシ畑に1台を設置しました。

北信支店で開いた稼働式には、JA役職員や関係者ら約30人が出席。市場関係者やJA全農福島消費地販売部の関係者は東京都からオンラインで参加。モモやキュウリのライブカメラの映像を見ながらJAの担当者が生育状況を説明しました。

▲オンラインで生育状況を説明するJA職員

▲園地に設置したライブカメラ

TOP NEWS

6月15日

福島大学食農学類と共同研究
「あんぽ柿」美容・健康効果を科学的に証明

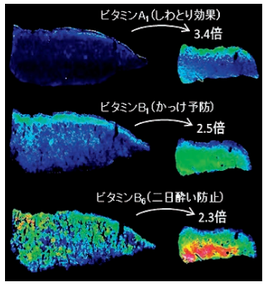
JAと福島大学食農学類の鹿野仁美研究員らの共同研究で、県北地方特産のあんぽ柿に含まれるビタミンA1の量が生柿に比べて3倍以上多いことを分かりました。

JAは、風評被害払拭に向けて福島大学食農学類に研究を依頼。鹿野研究員や平修教授らが、最先端機器を用いて、成分と質量を測定して画像化する「イメージング質量分析装置」で生柿とあんぽ柿の成分を分析しました。

この結果、あんぽ柿はしわとりなどの美容効果があるとされるビタミンA1が3・4倍、かつけ予防のビタミンB2が2・5倍、二日酔い防止に効くビタミンB6が2・3倍多いことが明らかとなりました。

論文は日本油化学会の英文誌「ジャーナル・オブ・オレオ・サイエンス」の8月号に掲載されることが決まりました。

▲共同研究を行った左から鹿野研究員、平教授、須田部長



▲質量顕微鏡を用いた生柿とあんぽ柿の比較

6月15日

ウメ出荷目揃え会
復興へ一歩前進 小高区産ウメ初出荷へ

南相馬市小高区の川房上組果樹生産組合は、ウメの出荷目揃会を小高総合支店で開きました。同支店管内でウメの出荷は東日本大震災の原発事故以来初めてとなります。

原発事故前は9軒の農家で栽培していましたが、事故後の避難指示で営農活動ができなくなり、ほとんどの農家が離農。6年前の同指示解除後、5軒の栽培農家が1日に数本ずつの枝打ちなど樹木管理を再開し、モニタリング検査を重ね安全性が確認できた事から9年ぶりの出荷となりました。

同組合では今年度、約5tの出荷を予定しており、今後5～8年をかけて10t超の出荷を目指します。

同組合の志賀信夫組合長は「安全性が認められた小高のウメを全国に発信していきたい。今後は販路拡大に向けて良品の出荷を心掛けたい」と意気込みます。

▲出荷基準を確認する組合員

▲生育状況を確認する組合員

6月12日

8月上旬に出荷ピーク
梅雨期の管理徹底で収量アップ

安達地区本部は、二本松市の圃場でチェリートマトの栽培指導会を開きました。生産者10人が参加。梅雨期から梅雨明け後の管理のポイントを学び、収量アップを目指します。

指導会では、県北農林事務所安達普及所の早田正子主査が梅雨期から梅雨明け後の栽培管理について説明。「今の時期にしっかり手入れして収量アップを目指そう」と呼び掛けました。今年度は、天候にも恵まれ生育は順調。8月上旬に出荷ピークを迎えます。

▲生育状況を確認する生産者

6月14日

大波ひわまり育って会種まき
広大なヒマワリ畑へ

福島市大波地域で景観づくりや地域活性化に向けた取り組みを行う「大波ひまわり育って会」が、大波城址がある山の斜面でヒマワリの種まきを行いました。山の斜面を整備した約40aの畑をヒマワリ畑にすることを通して、地域間交流も担っています。

種まきには約40人が参加し、今年はさらに景観を楽しんでもらおうと大きく咲く品種「ハイブリッドサンフラワー」を合図に合わせながら一粒ずつ種をまきました。

7月下旬頃から咲きはじめ、8月のお盆の時期に満開を迎える見込みです。

▲一列に並んで種まきする参加者

6月19日

「五感に響く道の駅」をテーマに

道の駅かわまた リニューアルオープン

伊達郡川俣町にある「道の駅かわまた」がリニューアルオープンしました。町の特産品「川俣シルク」や「川俣シャモ」、「フォルクローレ」が体感できる「五感に響く道の駅」となりました。

同町は、新型コロナ外出自粛の全国制限解除に合わせて記念式典を開催。川俣町の佐藤金正町長は「この場所から川俣町の新しい扉を開き、町の人々の熱い想いを全国に発信したい」とあいさつしました。

同敷地内には、JAの農産物直売所「ここら川俣店」が併設。佐藤町長は「町の発展に向け一緒に重要な役割を担っていきたい。農産物PRの場としてチームプレーで盛り上げていこう」と話しました。

▲リニューアルオープンした道の駅かわまた

6月17日

米っこクラブ活動再開

料理教室で親睦を深める

女性部そうま地区米っこクラブは相馬中村研修センターで料理教室を開きました。同クラブ会員やJA職員12人が参加。新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、4ヶ月ぶりの開催となりました。

同教室は6月から毎月開催を予定しており、季節の野菜や地元の素材を使った料理を作って親睦を深めます。今年度第1回目となる今回は米粉を使った「モチモチにらまんじゅう」など2種類を作りました。

同クラブの佐藤珠美会長は「参加しなければ会えない方も居るので今日はとても楽しみにしていた。昨年より楽しい内容で更に親交を深めたい」と話します。

▲米粉料理を作るクラブ会員

7月1日

そば蔵旬楽里　新商品販売開始

2種のキッシュ～農の風と共に～

JAのここら矢野目店に併設するそば蔵旬楽里は、7月からJAの6次化商品「農の空」「農の風」の2種類のスパークリングワインに合う新商品の提供を始めました。

1品目は「新玉ネギのキッシュ」。国産バターをたっぷり使用したサクサクの生地に旬の新玉ネギをたっぷり使用しました。じっくりソテーした新玉ネギの甘みがたっぷり詰まっています。「農の風 アップルシードル」と相性ピッタリです。

▲新玉ネギのキッシュ

2品目は「キッシュ・ラタトゥイユ」。ズッキーニ・ナス・パプリカなど地元産の夏野菜を完熟トマトで煮込んだラタトゥイユに、たっぷりのチーズを乗せて焼き上げました。「農の空」の深みのある味わいを引き立てます。

旬楽里の渡辺三枝店長は「どちらの商品も生地から全て手作りになっています。お求めの方はご予約がおすすめです」と話します。

▲キッシュ・ラタトゥイユ

お問い合わせ先　そば蔵旬楽里
TEL024(554)6751(月曜休)
1個520円(税込)　7月1日～8月中旬までの販売予定。

6月12日

コロナ禍で不安の学生を支援

聖母・学院にコシヒカリ380kg贈呈

JAは、新型コロナウイルの感染拡大防止の影響によってアルバイト等の収入が減少し、経済的な不安を抱える学生を支援するため、桜の聖母短期大学と福島学院大学に県内産米「コシヒカリ」計380kg(1袋2kg)を贈りました。

贈呈式はそれぞれの大学で開き、菅野孝志組合長と数又清市専務、半谷善弘常務が桜の聖母短期大学に80kg、福島学院大学に300kgを手渡しました。

支援米を受け取った、福島学院大学保育学科2年の伊藤雪乃さんと一重愛海さんは「福島のお米をたくさん食べて、県に恩返ししたい」と話していました。

▲桜の聖母短期大学での贈呈式

▲福島学院大学での贈呈式

6月12・15日

サクランボ盗難防止呼び掛ける

パトロール隊出動!!

JAと北地区、湯野・東湯野地区防犯協会は12日から、くだもの盗難防止広報パトロールを始めました。管内のくだもののトップバッター「サクランボ」の最盛期を前に、園地をパトロールカーで巡回。防犯対策を地域へ呼び掛けました。同パトロールは今後、モモ、ナシ、ブドウ、リンゴと続きます。

同防犯協会や生産者、JAなどが管内を巡回し、不審者や不審車両を見かけたらすぐに通報するよう呼び掛けました。今後、定期的にパトロールを行い、地域一丸となってくだものを盗難から守ります。

▲サクランボの生育を確認するパトロール隊員ら

6月10日

家の光記事活用

押し花お薬手帳 ケース作りに挑戦

伊達地区本部は、2020年度JA女性講座「みらいスクール」を開講しました。管内の女性部員ら約30人が参加し、家の光記事活用で「押し花お薬手帳ケース作り」に挑戦しました。

同講座は、身近なことを生活の基本として、暮らしの中で利活用出来るように仲間とともに学んでいく女性専用の講座。家の光記事活用やバスツアーなどのカリキュラムを来年1月までに計6回開きます。

▲オリジナルのケースを作る女性部員㊧

6月17日

新花卉共選施設安全祈願祭
新たな産地拡大に向けて無事の完成祈る

ＪＡは福島市の花卉共選施設新築工事の安全祈願祭を行いました。同施設では選別や箱詰め作業を受託。労力負担が大きい収穫後の調整作業を軽減することで、栽培管理へ専念できる環境整備を図ります。

花卉出荷協議会の設立、全地区共同の出荷開始により、体制を整備し「ＪＡふくしま未来の花」としてのブランド確立、生産・販売拡大を目指します。

神事には、ＪＡ役職員や請負業者ら約30人が出席し、工事の安全と施設の無事の完成を祈りました。施設は令和３年１月末に完成予定です。

▲無事の完成を祈る出席者ら

6月9日

新規・若年向け指導会
キュウリ生産拡大へ

▲栽培管理を学ぶ参加者ら

梁川営農センターは、キュウリ生産者が増えてきたことを受け、伊達市の圃場で新規・若年生産者向けにキュウリの栽培指導会を開きました。新規就農者ら17人が参加し、栽培の基礎や管理のポイントなどを学びました。同じ悩みを持つ生産者同士の出会いの場としても期待しています。

指導会ではＪＡの担当者らが、キュウリ栽培で特に重要なポイントを実演を交えながら分かりやすく説明。周りから勧められ今年就農した女性は「不安を抱える中、指導会は大変心強い」と話し、終了後もＪＡの指導員に質問していました。

6月23日

ナス8月下旬にピーク
現地で栽培管理学ぶ

安達地区本部は、二本松市の圃場でナス栽培指導会を開きました。生産者12人が出席。収量アップに向けて、ストレスを軽減する栽培管理について学びました。

今年度、平年よりも雨量が少ないものの天候にも恵まれ生育は順調。６月８日から出荷が始まり、８月下旬にピークを迎える見込みです。

指導会では、県北農林事務所安達普及所の早田正子主査が、収穫初期から中期の栽培管理について説明。「小さいサイズから収穫しつつ樹づくりを優先していこう」と呼び掛けました。

▲栽培管理を学ぶ参加者

6月4日

SPL委嘱状交付式
全国各地でふくしまの農産物をPR

令和２年度農産物ＰＲチーム「ＳＰＬ（スマイル・プレゼン・レディ）」の委嘱状交付式を行いました。委嘱を受けた職員20人は県内や関東、関西など全国各地でＪＡ管内の農産物や加工品などのＰＲや販促活動を行います。

同交付式では永澤信弘福島地区役員代表が「農家の皆さんが一生懸命作った農産物をみんなで力を合わせてＰＲしていこう」と激励し、代表者に委嘱状を手渡しました。

▲令和２年度SPLとして活動するメンバー

JAの
農業振興支援事業を活用

農業所得アップ優良事例

JAでは、4億円の予算を確保し、農業振興支援に取り組んでいます。
事業を活用し農業所得が上がった事例を紹介します。

優良事例

福島地区　なし生産農家
栽培品目・面積　なし10a（幸水・あきづき）

取り組み前年対比（%）
販売数量：160%（見込）

項目	
活用した支援事業	果実生産基盤強化事業
事業活用前の課題	混植による着果管理や薬剤散布の作業時間のロスにより面積の拡大ができなかった。
取り組んだ方策	平成22年に樹体ジョイント仕立てを導入し年々面積を拡大し、10ａの面積拡大につながった。 令和元年は20本を植栽。事業活用により苗木代の軽減を図った。苗木代98,000円のところ32,000円で購入。
取り組み状況（実績見込）	平成29年度 定植（20本）→令和元年度 250kg/10ａ換算 75,000円→令和2年度 400kg/10ａ換算120,000円（見込） 定植から収穫までの期間：慣行栽培は概ね７年に対して、ジョイント栽培は概ね３年から収穫をすることができる（令和元年定植分も令和4年には120,000円の所得が見込まれる）
取り組み後の成果	樹体ジョイント仕立て導入により栽培管理の簡素化へと繋がり、労力軽減（２割減）となり作業効率があがり、面積拡大をすることができた。 樹勢コントロールがしやすく、均一な側枝が得られた。また、均一な側枝配置によりナシ棚の利用率向上が得られた。
農家コメント	苗木代の助成により低コストで面積拡大をすることができた。植栽初年度は、接ぎ木作業等が大変だが、２年目以降の作業は慣行栽培よりも栽培管理が容易となるため、今後も面積拡大を検討している。
担当営農指導員コメント	慣行栽培よりも管理作業の簡素化が得られるため、作業効率があがり労力軽減にも繋がります。今後も継続して普及推進を図っていきたい。

販売情報

せり情報

■ＪＡふくしま未来実績（開催日　6月9日・10日）　単位：円（税込）

性	入場	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	平均日令	前月価格	前月比
雌	80	79	601,268	1,226,500	396,000	292	2,062	290	562,150	39,118
去	107	106	696,684	1,061,500	411,400	327	2,132	283	644,473	52,211
計	187	185	655,939	1,226,500	396,000	312	2,104	286	610,725	45,214

■福島県家畜市場（開催日　開催日　6月9日・10日）　単位：円（税込）

性	入場	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	平均日令	前月価格	前月比
雌	361	358	619,620	1,226,500	385,000	295	2,099	289	565,378	54,242
去	451	449	680,493	1,061,500	405,900	321	2,122	283	637,007	43,486
計	812	807	653,489	1,226,500	385,000	309	2,113	285	606,571	46,918

■乳牛せり市場（開催日　6月18日）　単位：円（税込）

	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	前月価格	前月比
妊娠牛	3	644,234	653,400	631,400	－	－	－	0
Ｅ Ｔ 和 雌	2	474,100	477,400	470,800	89	5,357	464,200	9,900
Ｅ Ｔ 和 雄	7	518,257	557,700	426,800	88	5,871	462,000	56,257
乳雄牛	9	183,088	209,000	69,300	79	2,308	157,506	25,582
F1雌（スモール）	30	273,460	312,400	228,800	74	3,674	247,348	26,112
F1雄（スモール）	41	291,608	397,100	73,700	80	3,660	265,460	26,148

和牛せり市場
乳牛せり市場

ワンポイントアドバイス

牛舎の換気は大丈夫ですか。

牛は、暑さが苦手です。暑さによって、食欲減退による子牛出荷体重の減少や繁殖牛の受胎率の低下などを引き起こすので、夏場の管理において大切なのは、牛舎内の風通しと飲水の確保です。水飲み場やウォーターカップの中をきれいにし、新鮮で冷たい水が飲めるようにして、母牛と子牛に暑熱ストレスを与えないようにしましょう。

これからの時期になると、暑さで牛が熱中症になる場合がありますので、タオルを水で濡らし、首にかけてあげるだけでも熱中症対策になりますので、管理には気を付けましょう。

ナシ栽培講座

◇本年度の満開日

地区名	幸水	豊水
福島地区	4月22日	4月17日
そうま地区	4月23日	4月15日
安達地区	4月28日	4月25日

1．新梢管理について

・新梢管理は必要最小限とし、新梢数の確保に努め、樹勢維持を図ります。
棚面が極端に混みあっている場合は、不要な新梢を間引き剪除を行います。

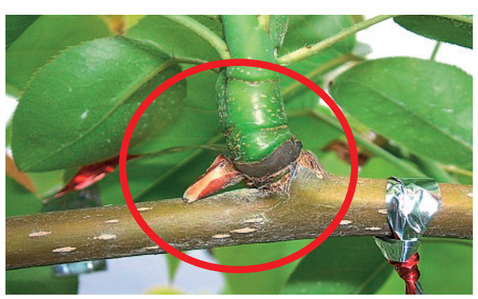
2．修正摘果

・果実が下がり、果実の見極めがわかりやすくなることから満開後90日頃から作業を始めましょう。幸水の果実肥大（65㎜）を目安とし、小玉果や変形果の摘果を行います。但し、今年度は開花期間中の低温の影響により着果数が不足している園地が多く見られるため、着果数を考慮しながら摘果作業を実施し、収量確保に努めましょう。

3．病害虫防除について

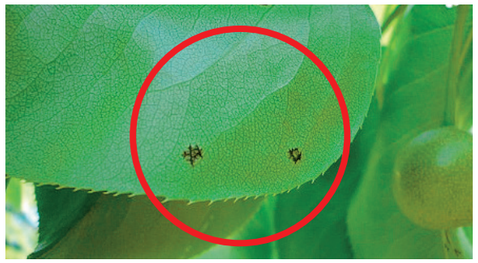
【病害】
○黒星病
　降雨量が多いと黒星病の発病が増加するおそれがあります。罹病部位を残したままでは薬剤散布の効果は得られないため、見つけしだい摘除し、園外での処分を徹底しましょう。また、散布は雨前を基本とし多発が予想される場合は、梅雨明けまで7日間隔で散布をしましょう。散布時には、立ち枝（予備枝・新梢）の先端まで十分な薬量を散布することが重要です。
【虫害】
○ナシヒメシンクイ
　後半の世代ではナシ果実への寄生が増加します。例年ナシの果実被害が多い地域では注意しましょう。
○カメムシ類
　園地内への飛び込みをよく観察し、多数の飛来が見られる場合は速やかに防除を行いましょう。

《黒星病の病斑》



【果そう基部病斑】

【発病葉】



【発病葉】

【発病果実】

《重点取組事項》

　樹勢を保つためにも貯蔵養分の無駄な消耗を少なくするため、早期作業（摘蕾・摘花・摘果など）が重要です。また、養分を枝の先端まで吸い上げる剪定・誘引が大切となり、予備枝剪定・吸上げ枝を各所に配置し、先端部分は強めにおくようにしましょう。
　誘引は棚面に水平になるように心掛け、養分の流れを良くすることで無駄な徒長枝を抑え、玉揃いも良くなります。
　適正栽培をするうえでは、予察観察を常に繰り返し、自園地を一層知ることが重要です。

　薬剤の詳細については最寄りの営農事業所まで問い合わせをお願い致します。なお、隣接する作物、ハウス等には飛散しないように散布する日の天候条件を十分に考慮し注意しましょう。

◎福島地区吾妻営農センター斎藤大史、そうま地区本部営農経済課酒井大輔が監修しました。

キュウリ栽培講座

1．定植作業

・定植前には薬剤処理を忘れず行いましょう。（プリロッソ粒剤又はミネクトデュオ粒剤等）
・定植は暖かい日の午前中（高温予想の場合、午後から定植）に行います。畑土壌とポット土の間に隙間ができないようにし、深く植えすぎないように注意します。
・定植後は株元灌水を行います。

2．摘葉・摘果「摘果に優る追肥なし」

・下位節位について、株元40㎝程度をきれいに摘葉し、通風を確保します。
・収穫開始頃から主枝中段の摘葉を始めます。風通しや採光を考え、混み具合を見ながら、古葉や側枝の発生状況に合わせて病葉等を中心に株あたり1回2～3枚を限度に摘葉し、葉の更新を図ります。
・不良果は早い段階で摘果し、着果負担を軽減することで草勢の維持・回復を図ります。
・疫病発生・腐敗果を防止するため、摘んだ葉や果実は全て圃場の外に出して処分します。

3．潅水・追肥

・収穫量が増えるに従い、水不足による草勢低下が心配されるので、こまめな通路潅水を行いましょう。
晴天が続く場合は、少なくとも3日に1回は潅水。潅水は天候状態に応じて量を加減し、午前中に実施します。高温・高日照時には昼頃にもう一度潅水を行っても良いですが、夕方や遅い時間帯は避けましょう。
・収穫初期は窒素過多に注意し、主枝一番果の開花、肥大頃より少量ずつ追肥を行い樹づくり重視の肥培管理を行いますが、追肥量は、少量多回数（5～7日おきを目安）で収穫量に応じてムラの無いように行います。葉面散布や土壌灌注も草勢に応じて組み合わせます。
・追肥は遅れないよう芯の状態や葉色、雌花数等を観察しながら生育に合わせて行いますが、品種により施肥量が多くなり葉色が濃くなると病害や生理障害を招くので注意しましょう。

4．萎れ・芯やけ対策

・曇天後・梅雨明け後の晴天や、台風等の強風で萎れが発生しやすいため、カルシウム資材での葉面散布の実施や、朝方の葉水・通路灌水（高温時は夕方）による空中湿度保持、摘果の実施に加え発根促進剤や蒸散抑制効果のある資材を積極的に使用します。

5．病害虫防除

・収穫盛期後の成り疲れ時や、台風等の豪雨・強風後は、病害が発生・蔓延しやすいため、適正管理・早期防除に努めます。
・強風による傷果は直ちに摘果し、着果負担を軽くします。
・降雨により病害の発生が助長されるので、降雨前の防除の実施や、降雨が続く場合には散布間隔を短くし、散布ムラがないように適切に散布します。
・通路に滞水している場合は、早急に排水を行います。
・日照不足や肥料切れによる草勢低下は、病害の発生を助長するため、適正な肥培管理や草勢維持対策を実施します。

【重点取組事項】

　上記の基本的な管理だけでなく、状況に合わせた臨機応変な対応も必要になってきます。
・週間天気予報をチェックし、防風ネット等の点検もします。
・今年は生育初期から側枝の発生が弱い状況にあるので、樹勢が弱い場合、摘芯は慎重に行います。枝を摘みすぎると次の枝の発生が悪くなり、収量が減少。無理な摘芯は控え、特に混んでいるところを中心に、ゆっくり様子を見ながら摘芯します。
・親づるの花：上向きが適正。横・下向きは樹勢が弱い証拠。
・果形：暑いと乱れ（曲がり等）、水分あれば細長くなりやすいです。先太が出ると、成り疲れ・肥料吸収していない証拠。イボのない部分が長い方が果形良好。
・流れ果（花腐れ）：樹勢弱く着果過多、曇天の場合発生多いです。対策としては発生果の摘除、天候回復すれば問題ありません。
・果実から葉が出る：窒素過多による成長バランスの崩れ（生長点の変化）
・芯焼けしそうな場合：プロテックα（薬剤散布時の混用可能）・トレエース　（葉面散布）・アイスバリア（葉面散布）
・芯焼けした場合：キュウリはつる性の為、脇芽が生きていれば問題ありません。芯焼けした場合は、芯は早めに摘除し、側枝発生を促進させます。
・萎れた場合：大きい葉・実を全て落とすと回復する可能性があります。

【病害対策】

　病害虫の発生に注意し防除に努めましょう。
＊うどんこ病…葉表に白い粉を生じる。
＊斑点細菌病…葉に水浸状角形病斑、果実はへこみ、黄褐色のヤニ発生。
・べと病　…葉脈に区切られた多角形の病斑を生じる。
・褐斑病　…淡褐色（小型）、円形・綿毛状かび（大型）。
・炭そ病　…周辺が褐色、内部が淡色の病斑を生じ、中心破れやすい。降雨・ドロ撥ね等で被害拡大。
・黒星病　…比較的低温・多湿条件で多発する。
果実では初め暗緑色の円形斑点を形成し、のちに褐変してへこみ、すす状のカビを生じる。若葉や若い茎では初め湿閏状となりヤニを生じる。後に淡褐色～褐色となって枯れ表面に黒いすす状のカビを生じる。
・つる枯病…茎では主に地際部が色わせ、後に灰色カサブタ状となり、その上に黒色の小粒を生じる。葉では、葉脈に囲まれたくさび型病斑、円形大型病斑となる。症状が進むと病斑が発生した先が枯死するため、多発すると被害が大きくなる。

うどんこ病

べと病

褐斑病

炭そ病

【害虫対策】基本を再確認！

・ハウス・露地ほ場周りの雑草を刈る。
・残渣（摘葉・摘果）はほ場外に出す。
・定植前に薬剤灌注（ベリマークＳＣ　効果は1ヶ月ほど持続）
・定期的にほ場を見回り、早期発見に努める。
＊ヨトウムシ
＊アザミウマ・アブラムシ　} 発生が多いので、散見されたら薬剤防除する。
・ハダニ類：ワラを敷くと発生が多くなり、薬剤抵抗性も発生しやすいため、同じ薬剤の連用は避ける。
＊例年より多い状況（予報）なので、特に注意しましょう。

◎伊達地区本部営農経済課斎藤友和、安達地区本部営農経済課遠藤光一が監修しました。

営農
集団
紹介

株式会社アグリ鶴谷（つるがい）

アグリ鶴谷の皆さん

鶴谷地区の水田を守る担い手組織

南相馬市と太平洋に挟まれ、近くにはJR常磐線が通る、旧原町市の南部に位置する、緑豊かな農村地帯です。
今回は、この地区で担い手組織として活動している「株式会社アグリ鶴谷」を紹介します。

設立経過

平成23年の東日本大震災による原発の事故で、地区の方々も避難を余儀なくされてしまいました。
4年後避難が解除され、徐々に住民の方々が戻り始めた頃、南相馬市から農山村地域復興基盤総合整備事業による圃場整備の話がありました。地区で集会を重ね、実施することが決まりました。
この事業の受け皿となる、担い手組織として、平成29年8月に、地元の有志7名で、「株式会社アグリ鶴谷」を設立しました。
相双農林事務所等による現地調査や地元の意見を取り入れた設計作業が進み、ようやく今年の秋頃からハード事業が着手されることとなりました。

運営状況

震災後8年目の平成30年にこの地区で初めて11haの水田に水稲を作付けしました。昨年は16ha、今年は24haと、規模を拡大させてきました。昨年までは飼料米として出荷してきましたが、今年は、「天のつぶ」16haは食料米として、「ふくひびき」8haは飼料米として作付けをしています。
会社での機械類の保有状況は、南相馬市からの支援事業により、田植え機、トラクター、コンバイン、ブームスプレヤー及びトラクターのアタッチメント等々が導入され、今年構えた事務所の敷地には、乾燥調整施設が秋の稼働を目指して、現在建設が進んでいます。

田植えも終わり緑豊かな水田

この会社では、令和元年から、農研機構が推し進める「スマート農業実証プロジェクト」による、NTTグループが、『準天頂衛星みちびき』活用による新たなスマート営農ソリューション中山間部における稲作経営対応」の実証圃場として、圃場管理や病害虫・生育診断の省力化・AI化と収量アップに向けた取り組みと実証を行っています。又JAふくしま未来もこの事業に協力機関として参画しています。
営農面は6名が圃場管理を分担して行っており、経理面は代表取締役の清信眞一氏が担当しています。

将来展望

今年の秋から始まる圃場整備は、全体面積83haで、令和6年度の完成を目指しており、「株式会社アグリ鶴谷」はこの内、鶴谷地区62ha全ての耕作を受託し、水稲に代わる作物の導入と後継者の育成を図っていく計画としています。

建設中の乾燥調整施設

コロナ禍に立ち向かう農家を支援する補助金のご案内

経営継続補助金

内　　容

①経営継続のための経費
➡100万円を上限に4分の3補助
（133万3,333円以上の事業に100万円補助）
例：機械購入、アルバイト賃金等
※事業費の6分の1以上は接触機会を減らす機械購入等に充てる
※単なる取換え更新の機械装置等の購入は補助対象となりません
②感染拡大防止の経費
（マスク・消毒液等）
➡50万円を上限に定額補助

2つの鍵

①書類（得点）審査
②予算超過の場合、第3次補正予算・予備費獲得農政運動

地区本部・営農センターからのご案内に基づき申請願います。

内容は左の通りで、事業実施主体である全国農業会議所から業務委託を受けて、ＪＡが経営計画の作成や取り組みを支援して参ります。
事業実施期間は令和2年5月14日以降の取り組みが対象で、令和2年12月31日までの取り組みですが、7月17日までの申請が必要です。
審査基準は「経営状況・方針が適正か」「本補助金は経営に効果をもたらすか」「新型コロナウイルス感染症による影響を乗りこえるための取り組みか、可能性はあるか」
「積算は透明で適正か」です。
書類審査で、影響を受けた程度、接触機会を減らす具体的取り組み等のポイントの高い内容から採択されます。
農林漁業者が対象で第2次補正予算は200億3,700万円（全件150万円補助だと13,358件）です。不採択の場合もありますのでご了解願います。また、第2次公募は行われないことも想定されますが次の補正予算または予備費等で増額されるようＪＡグループは政府等に要請し、実現することが最大の鍵となります。

高収益作物次期作支援交付金

高収益作物

野菜・花卉・果樹・茶等で国が指定した作物

対象農家

令和2年2月から4月の間に新型コロナウイルスの影響による需要の減少により市場価格が低落する等の影響を受けた高収益作物農家

事業の内容

⑴次期作に向けた取り組み
例：コスト削減・資材購入・土壌改良剤・自動環境制御装置
⑵HP、新品種・新技術導入、GAP
⑶高品質なものの出荷に係る人件費

国・県等から日程・対象品目の提示があり次第ご案内します。

新型コロナウイルス感染症の影響で売上が前年同月比50%以上減少した法人・個人事業者に法人200万円・個人事業者100万円を限度に給付されます（個人農業者は前年収入合計額の1/12が毎月の売上）。
補助金と異なり一定の条件をクリアしていれば受給できます。自分のパソコンでも申請できますが、中小企業庁は右の会場で受け付けています。ＪＡではＪＡ販売で明らかに被害の発生した肉牛・花卉農家の対応をしております。

持続化給付金

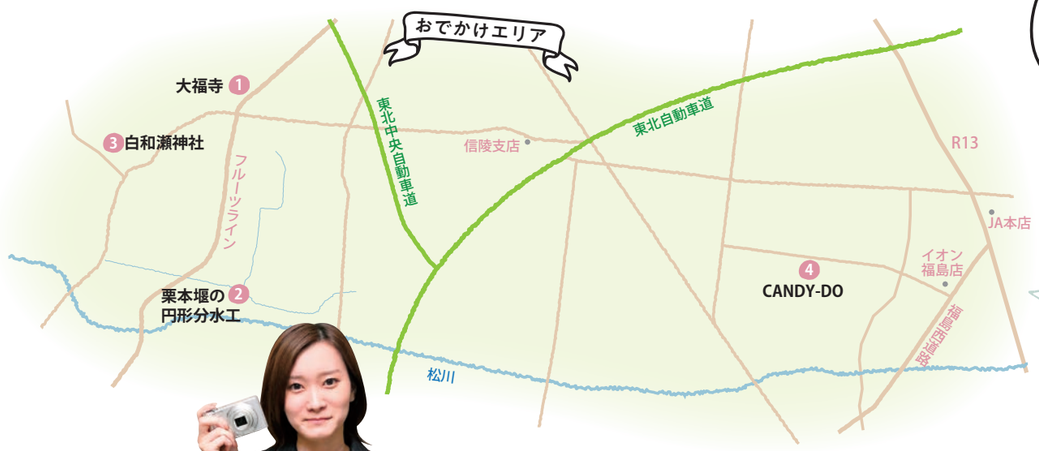
現在、ＪＡふくしま未来管内で持続化給付金申請が可能な会場

場　所	番　号	施設名	住　所
福　島	0704	コラッセふくしま8Ｆ 第１・２会議室	福島市三河南町1-20
二本松	0707	二本松商工会議所2Ｆ大研修室	二本松市本町 1-60-1
原　町	0706	原町商工会議所2Ｆ大会議室	南相馬市原町区 橋本町1-35

＜但し事前予約が必要です＞　　＜申請期限は令和3年1月15日です＞
①ｗｅｂ予約
②電話予約（自動ガイダンス）　電話番号　0120-35-130 上記会場番号が必要
③電話予約（オペレーター対応）電話番号　0570-077-866
受付時間　平日、土日祝日ともに9時～18時

福島地区
大笹生・笹谷地域

おでかけ
みらいろーど



今回は、福島市の北域西部に位置する大笹生・笹谷地域を散策しました。歴史ある神社やお寺、ハワイアンテイストのオシャレなカフェなどを紹介します。紹介するのは、信陵支店の野口朋香さんです。

1 愛宕山大福寺

五穀豊穣、火伏、縁結びと地域住民の心のよりどころとして親しまれている歴史ある大福寺。約250年前の江戸時代中期に建てられた観音堂は、県内でも珍しいかやぶき屋根の礼堂になっています。

県内でも珍しいかやぶき屋根の礼堂

◀礼堂軒下の左右にある大仏様木鼻

施設情報
住　　所／福島市大笹生字中寺5
T　E　L／024-557-6215

2 栗本堰の円形分水工

農業用水を大笹生・笹谷・平野・鎌田など広範囲にわたり安定供給するため昭和25年に作られた円形分水工。松川左岸の栗本壇から取り入れられた水は円形分水工の中央へと導かれ、中心から溢れ出た水は円内に設けられた38個の分水工から外円内を通り各方面へと分配されます。

70年間福島の農業を支える水路

各方面へ水を供給する分水工

施設情報
住　　所／福島市大笹生字長老檀11

3 延喜式内社　白和瀬神社

1300年以上前に烏帽子ヶ岳山頂に鎮座され、1580年代に現在の地に社殿を設けました。約100mある参道には季節の花が咲き並び、7月にはアジサイが見頃を迎えます。境内には安産の守り神として車松神社があり、県内外から多くの参拝者が訪れます。

安産の守り神、車松神社

約100mの参道の先にある拝殿

宮司自ら作った白和瀬小路

施設情報
住　　所／福島市大笹生字折戸41
T　E　L／024-559-1020

4 PANCAKE CAFE　CANDY-DO

平成27年にオープンしたハワイの高級ホテルをイメージしたオシャレなパンケーキカフェ。平成30年には2号店が大町にオープンしました。10種類以上のパンケーキに加え、季節限定の味も楽しむことができます。

フワフワしっとりのパン生地と質感と絶妙な甘さの生クリームは「また食べたい！」と思う絶品パンケーキです♪

オシャレな外観。テラス席もあります

テイクアウトメニューも人気です

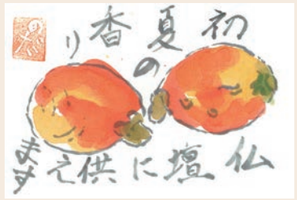
店舗情報
住　　所／福島市笹谷字稲場28-4
営業時間／平　日11:00 ～ 16:00
　　土日祝11:00 ～ 17:00
（※コロナの状況によって変更する場合がございます）
定 休 日／木曜日
T　E　L／024-573-8021
テラス席はペット可

みらいろ 作品展

野 ヨオ子さん（南相馬市鹿島区）

鈴木 栄子さん（伊達市保原町）

鈴木 美江子さん（伊達市梁川町）



野田 好子さん（伊達市保原町）

佐藤 久子さん（二本松市）

菅野 恵子さん（桑折町）

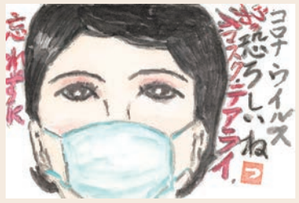
大槻 純子さん（桑折町）

佐藤 ヨシさん（二本松市）

今野 廣子さん（南相馬市鹿島区）

佐藤 静子さん（伊達市保原町）

山田 ひで子さん（伊達市保原町）



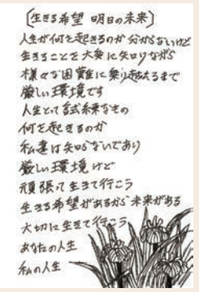
桑折 ツネ子さん（南相馬市原町区）

加藤 洋子さん（二本松市）

曳地 美雪さん（伊達市梁川町）

橘 美知子さん（伊達市梁川町）

岡﨑 イクさん（桑折町）



安藤 春美さん（南相馬市原町区）

宍戸 フミさん（桑折町）

作品募集中

絵手紙、川柳、俳句、短歌の作品を募集いたします。
住所・氏名・年齢・ご連絡先を明記の上ハガキまたは封書にて、お送りください。
また、「みらいろ」を見てのご意見、ご感想もお待ちしております。応募締切は7月16日（木）必着です。

〒960-0185
福島県福島市北矢野目字原田東1-1
JAふくしま未来「みらいろ作品展」係

※応募多数の場合は、掲載できない場合もございます、あらかじめご了承ください

俳句・短歌・川柳

俳句

風止まり網戸の外の闇じはり
小田 慶喜さん（明石市）

せせらぎの歌にダンスの水芭蕉
小田 和子さん（明石市）

網戸越し蛙の合唱のど自慢
富田 タツ子さん（南相馬市小高区）

もぎ取った梅の実いつか梅酒なる
富田 直子さん（水戸市）

梅雨入り太陽恋し元気一筋
前原 ゆう子さん（南相馬市小高区）

朝焼けに山鳩鳴いて雲低し
吉田 昭雄さん（南相馬市原町区）

四季の国季節はめぐり花の節
梅村 チヨさん（南相馬市小高区）

冷酒を旬のつまみでグッと飲む
松坂 義秀さん（南相馬市原町区）

朝露にびっしょり濡れて初茄子を
遠藤 文子さん（南相馬市鹿島区）

あさがおは雨にぬれてもかがやいて
中野 里桜花さん（相馬市）

短歌

人手無く草刈り出来ず除草剤
雑草も人静かに消えて
清水 義宏さん（相馬市）

押し車見守る人も笑顔なり
自粛解除となる散歩道
大内 由美子さん（南相馬市鹿島区）

時計屋の時計の振り子まばらなり
時を大事とただ一すじに
安藤 直子さん（南相馬市鹿島区）

大きな口およぐこいのぼりコロナだけ
ネンチャクテープどうすかネ市長との
吉田 英子さん（伊達市梁川町）

梅雨じめり賑わい戻る傘かしげ
二波思わんば虹が惨事に
重野 国雄さん（伊達市霊山町）

「大丈夫」互い気遣う老い二人
感謝しながら明日へとつなぐ
渡辺 絹子さん（福島市）

幼な児の様に喜ぶ夫の顔
見たくてつくるランチにカレー
安田 キミ子さん（伊達市霊山町）

みえぬはず間近に見える風車
心がさわぐ春夏秋冬
横山 菊子さん（飯舘村）

ウイルスの感染避けて自粛をし
野菜作りとマスク作りを
大堀 スサ子さん（新地町）

孫が言う夢の十万ぼくのもの
スマホ欲しいと親子で会議
宍戸 マリ子さん（福島市）

忙しい合間をぬって手作りの
マスク届けるほがらかな友
森谷 悦子さん（福島市）

磐梯山や初夏の風に揺れ凛々とした
憧れの山ふる里の山
吉田 ユキさん（二本松市）

朝夕の車両渋滞みちのく道
復興未来築く人たち
平田 一さん（南相馬市原町区）

いつ終わるコロナに負けず我今和も
共に陽を浴びて水芭蕉咲く
須口 良子さん（南相馬市鹿島区）

川柳

これほどに人をみる目がない人事
山本 松太郎さん（本宮市）

もしもしと孫の初電待つ茶の間
須賀 深子さん（伊達市保原町）

夏野菜汗水流して今日手入れ
阿部 京子さん（福島市）

初夏の風優雅に揺らすカスミソウ
平間 勝成さん（南相馬市原町区）

こもれびの里のホームは生き生きと
今野 純子さん（新地町）

元気だせチマキを食べる節来たよ
二瓶 久子さん（福島市）

今日もまた愛猫抱いて散歩道
市山 カツエさん（国見町）

朝採りの新鮮野菜で元気モリモリ
岩佐 良子さん（新地町）

健康は朝のあいさつ笑顔から
佐藤 忠良さん（二本松市）

美しい恋て泣く鳥も姿は見いぬやぶの中
丹治 博永さん（二本松市）

休田の荒野が我が家鳴く小鳥
佐藤 大子さん（伊達市保原町）

雨上がり夫婦喧嘩も幕を閉じ
佐藤 衛さん（伊達市保原町）

田園にコロナも避ける風薫
菅井 昭子さん（国見町）

高齢で車やめれば要寂し
藤原 菊雄さん（南相馬市原町区）

戦争と同じ恐怖のコロナ病
武山 勇一さん（南相馬市原町区）

マスク掛け相手の笑目近視眼
引地 茂さん（南相馬市原町区）

コロナ風邪四六時マスク鬱千里
林 初夫さん（南相馬市原町区）

コロナくそしげづに大和魂だ
太田 三秀さん（南相馬市原町区）

コロナにて隣人友人遠くなり
藤原 和江さん（南相馬市原町区）

抗体は後退せずに前進だ
三浦 良一さん（南相馬市原町区）

隣り友急逝で帰し超ショック
太田 幸子さん（南相馬市原町区）

百二前ウイルス多死又暴ばれ
藤原 實さん（南相馬市原町区）

名ある人不倫の楽屋トイレバカ
デクノ坊さん（南相馬市原町区）

病院でゴホン一咳隣逃げ
藤原 元気さん（南相馬市原町区）

元気にすくすく みらいっ子

福島地区

渡利支店

長澤 正雄さんの
お孫さん
- 翔大（しょうた）くん（3歳）
- あかりちゃん（1歳）

2人ともミッキーが大好きです！早くディズニーランド行けるといいな♪ いつも、おじいちゃんのトラクター運転のお手伝いしています!!

安達地区

大玉支店

國分 善太さん、
祐子さんのお子さん
- 亜佳梨（あかり）ちゃん（3歳）
- 鈴葉（すずは）ちゃん（9ヶ月）

いつまでも姉妹仲良くね

そうま地区

中村みなみ支店

鎌田 武招さん、
くるみさんのお子さん
- 紬希（つむぎ）ちゃん（4歳）
- 彪雅（ひゅうが）くん（2歳）

仲よく元気に成長してね!!

伊達地区

粟野支店

幕田 佳広さん、
佐智子さんのお子さん
- 湊人（みなと）くん（5歳）
- 蒼人（あおと）くん（3歳）

じいちゃんが作るイチゴとモモが大好き

創造的自己改革実践中!! 28

『持続可能なJA経営基盤の確立・強化に向けた取り組み』

第5回通常総代会で「拠点、施設の再編（機能再編・統合）に向けた拠点再編計画の策定」を含めた事業計画（経営管理方針）のご承認をいただきました。

1．拠点、施設再編の必要性

ＪＡグループ・ＪＡふくしま未来をめぐる環境は、農業および地域社会においてもこれまでに経験したことのない変化が想定されています。ＪＡの安定経営についても懸念される材料が増えてきた中で、農業振興と地域活性化のためにＪＡが農家組合員や地域に必要とされる存在であり続けるために事業・業務・組織全般の「構造的経営改革」に向けて拠点、施設再編が必須となってきました。

- 担い手・労働力不足、耕作放棄地の増加、中山間地の過疎化
- 地域社会・農家社会の組織基盤脆弱化
- 協同組合の認識・関心の希薄化、組合員構成の多様化
- **JA を取り巻く急激な環境変化**
- キャッシュレス化ネットによる新しい金融サービス
- 利用者ニーズの変化（いつでもどこでも）（より高度な）
- マイナス金利政策の長期化による収益悪化

2．スケジュール

①再編計画の策定・検討・協議：令和２年３月～令和３年５月（通常総代会）
②再編計画の実行・完了：令和３年５月～令和４年２月末

創造的自己改革へのさらなる挑戦‼　みなさまの評価・応援が私たちの力になります！

福島大学
コラム

農作物の病気の発生メカニズムを明らかにし、防除技術の確立を目指す

福島大学　農学群食農学類　農業生産学コース
准教授　岡野夕香里

４月に食農学類農業生産学コースに着任いたしました。植物の病気を扱う植物病理学という分野が専門です。植物の病気は、私たちの身近に多く存在しています。福島県では、特産であるモモにせん孔細菌病が流行しています。これは、細菌が原因でモモの葉や果実に斑点ができる病気です。病気を防ぐには、原因となる微生物の生態や性質を明らかにし、その上で適切な対策を講じる必要があります。これから、特に福島で問題になっている病気について、発生メカニズムを明らかにし、実際の生産現場で役に立つような防除技術の確立に貢献したいと考えています。

病気といえば、新型コロナウイルスの影響により、現在、福島大学の講義は全てオンラインで行われています。食農学類の特色である、1年次における農場実習も同様です。このような状況の中で、担当の先生方は、実習圃場の様子を中継配信するなど、ライブ感を出すために様々な工夫をしています。オンラインだからこそ先生の説明に集中できる利点があります。困難な状況を前向きに捉え、学生たちと一緒に出来ることを少しずつ積み重ねて行きたいと考えています。

身近な植物の病害

ふれあい食材

新鮮な食材をお宅までお届け致します!!

只今、会員募集中!!

Aコース 月・水・金　Bコース 火・木・土

好みで選べる7コース

1日おきに週3回お届け!!
※日曜日、お盆、お正月はお休み。

●右記のほかに ★ほがらか野菜付コース ★なごやか6人コース
★すこやか調理済簡単コース ★あじわいコースもございます。

お求め・お問合せは
(株)JAふくしま未来サービス
食材センター
福島地区:☎024-546-2271
伊達地区:☎024-575-0444
安達地区:☎0243-33-2795
そうま地区:☎0244-25-2261

基本バランスコース
肉と魚のバランスメニュー。
魚と肉のバランスを考えた内容で、素材を中心に加工品や日配品、揚げ物などバラエティーに富んだコースです。

2人用	3人用	4人用
1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月
18,360円(税込)	25,920円(税込)	32,184円(税込)
●1回あたり 約1,670円(税込)	●1回あたり 約2,360円(税込)	●1回あたり 約2,930円(税込)

いきいきお魚コース
魚料理の好きな方にオススメ。
魚を多くし、肉を控えた内容で、魚の好きな方におすすめのコースです。

2人用	3人用	4人用
1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月
18,360円(税込)	25,920円(税込)	32,184円(税込)
●1回あたり 約1,670円(税込)	●1回あたり 約2,360円(税込)	●1回あたり 約2,930円(税込)

はつらつお肉コース
育ち盛りには、肉を多めに。
肉を多くし、魚を控えた内容で、肉の好きな方・育ち盛りのお子さんがいる方におすすめのコースです。

2人用	3人用	4人用
1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月
18,360円(税込)	25,920円(税込)	32,184円(税込)
●1回あたり 約1,670円(税込)	●1回あたり 約2,360円(税込)	●1回あたり 約2,930円(税込)

共栄を招く協同組合 JAと農業

監修=JCA
(日本協同組合連携機構)

世界で活躍する協同組合

毎年7月の第1土曜日は国際協同組合デーです。協同組合の起源は、産業革命後の労働者の厳しい生活を打開するため、1844年、英国のロッチデールという町で、労働者が自ら出資して協同組合を設立し、小さな店を始めたことにあります。協同組合は各地に広がり、1895年に国際組織、国際協同組合同盟(ICA)ができました。世界110ヶ国から311組織が加盟し(2019年4月現在)、世界の10億人を超える組合員を代表しています。

国連は2012年を国際協同組合年とし、16年には国連教育科学文化機関(ユネスコ)が、「協同組合の思想と実践」を無形文化遺産に登録しました。協同組合が「さまざまな社会問題への創意工夫あふれる解決策を編み出している」と評価したためです。

JAも「農業協同組合」として、協同組合間の連携を取りながら、より良い社会づくりに向けた取り組みを進めています。

語句解説

【協同組合間連携】(きょうどうくみあいかんれんけい)
地域の課題解決のため、多様な協同組合が力を合わせて対応します。日本でも、地域、都道府県、全国、それぞれの段階で様々な連携が行われてきました。全国段階では、JA、生協、漁協、森林組合、ワーカーズコープ、労働金庫などの全国組織が「日本協同組合連絡協議会(JJC)」に集い、連携を進めてきました。JJCの取り組みを引き継ぎ、協同組合がさらに連携を強め、地域で果たす役割・可能性を広げていくため、18年に「日本協同組合連携機構(JCA)」が発足しました。

世界の協同組合

- 1844年 ロッチデール公正先駆者組合設立(英国)
- 1862年 ライファイゼンにより「農村信用組合」設立(ドイツ)
- 1895年 国際協同組合同盟(ICA)設立
- 2012年 国際協同組合年
- 2016年 「協同組合の思想と実践」がユネスコ無形文化遺産に登録

日本の出来事

- 1843年 二宮尊徳が農民・武士の相互扶助組織「報徳社」を設立
- 1900年 「産業組合法」施行
- 1947年 「農業協同組合法」施行

「農協」の誕生

協同組合間連携の事例

耕そう、大地と地域のみらい。

みらいろ
ポイントカード
協力店紹介

みらいろポイントカード協力店でオトクなサービスを受けよう!

ここではみらいろポイントカードを提示することで、サービスが受けられるお店を紹介します。

八木田カイロプラクティック・パナセ

福島市

年齢・お悩みに合わせて対応させて頂きます。カイロプラクティックと美容カイロエステティックがございます。なんでもご相談下さい。

住　　所 福島市八木田字神明48-2
営業時間 9:00～19:00
定 休 日 不定期
T　E　L 080-5210-3970

サービス内容
会員証提示で施術料金500円引、お楽しみプレゼントサービス(1,000円相当)

㈲柳田商事

福島市

親切・丁寧に対応します

住　　所 福島市南矢野目字徳元田7-6
営業時間 9:00～18:00
定 休 日 日曜日・祝日
T　E　L 024-554-1758

サービス内容
会員証提示で賃貸仲介料5%割引

㈱四輪販売福島

福島市

毎日洗車無料!指定工場完備!お客様に寄り添い、共に走り続けられるように。お車に関わることはYONRINにお任せ下さい!

住　　所 福島市北矢野目字窪田13-4
営業時間 9:00～18:00
定 休 日 火曜日　第1・第3週水曜日
T　E　L 024-555-6225

サービス内容
会員証提示で車検整備時撥水洗車無料

STSカイロプラクティック施術院

桑折町

カイロプラクティックで健康になりませんか!! お気軽にお電話ください。
(完全予約制)

住　　所 桑折町字陣屋76
営業時間 9:00～21:00
(水曜日・木曜日・金曜日に関しては19:00～21:00)
定 休 日 不定期
T　E　L 090-9535-5064

サービス内容
会員証提示で施術料金500円引、お楽しみプレゼントサービス(1,000円相当)

菓子処いづみや

本宮市

いづみやでは素材から厳選し、和菓子の命ともいえる小豆は風味にこだわり、数十種類から一番適した小豆を使用しています。明治初期創業から現在の6代目まで一子相伝の味をご堪能ください。

住　　所 本宮市本宮字矢来10-3
営業時間 7:00～19:00
定 休 日 第2・第4水曜日
T　E　L 0243-34-2111

サービス内容
会員証提示でお買い上げ金額の10%割引

SVCすげのでんき

本宮市

家庭用、業務用電化製品販売・修理、太陽光発電、オール電化・各種リフォーム、相談見積無料。お急ぎの方は携帯090-8258-2403まで

住　　所 本宮市稲沢字鹿山内24-2
営業時間 9:00～18:00
定 休 日 不定期
T　E　L 0243-44-2403

サービス内容
会員証提示でLED電球・乾電池等10%割引、メーカー希望価格有の商品20%割引

杉山モーター

二本松市

自動車、バイク販売修理。

住　　所 二本松市木幡字松木下32-3
営業時間 8:00～18:00
定 休 日 日曜日
T　E　L 0243-46-2525

サービス内容
会員証提示で車検代金決済時に粗品進呈

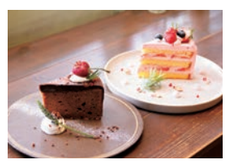
caf'e NicoNico-do

南相馬市

手作りのケーキやマフィンが人気です。Takeoutのみも可能!!

住　　所 南相馬市鹿島区北海老字藤金沢110
営業時間 11:00～18:00(L.O17:00)
定 休 日 火曜日・水曜日
(月曜日はオーダーのみ)
T　E　L 080-5573-8473

サービス内容
会員証提示でドリンク100円引き



㈲マルショウ事務機

南相馬市

様々な事務用品を扱っております。

住　　所 南相馬市鹿島区横手字町田25
営業時間 9:00～18:00
定 休 日 日曜日・祝日
T　E　L 0244-46-5491

サービス内容
会員証提示で会計時に粗品サービス

ハナブサオートサービス

南相馬市

全メーカー、全車種取り扱っております。自動車のことなら何でもご相談下さい。

住　　所 南相馬市小高区飯崎字北原110-4
営業時間 8:00～17:00
定 休 日 日曜日・祝日
T　E　L 0244-44-3285

サービス内容
会員証提示で車検時オイル交換無料

さらに協力店を知りたい場合は、各直売所に置いてある「協力店ガイド」をご覧ください。

05 ドローンで見る ふくしま未来

伊達地区（伊達郡桑折町）

半田沼（ハートレイク）

標高８６３.１mの半田山の登山道から見える半田沼。山頂付近のビューポイントから眺めるとハートの形に見えることから、ハートレイクとも言われています。最近では「恋人とハートレイクを見ると幸せになれる」と縁結びスポットとしても話題です。

ホームページで動画もご覧いただけます。
https://www.ja-f-mirai.or.jp/link/?drone
JAふくしま未来 ドローン動画集　検索

親子で楽しく農業体験 ☆参加者に素敵な記念品をプレゼント☆

みらいろアグリ塾参加者募集!!

第１回目　８月１日(土) **内容：田んぼの生き物調査** **場所：福島市内**	**第２回目　９月１９日(土)** **内容：講義＆実験** **場所：福島大学**
第３回目　１１月２１日(土) **内容：野菜収穫(大豆等)** **場所：新ふくしまファーム**	**第４回目　２月上旬** **内容：豆加工** **場所：ＪＡ施設**

定　員：管内の小学3年生以上の親子30名(先着順)
締　切：7月22日(水)まで
参加費：1組1,000円(各回ごと)当日集めます。
　　ＪＡ本店よりバス出発、現地集合も出来ます。

お申込み方法

お近くの支店にある申込用紙又は、参加者のお名前、ふりがな、性別、生年月日、年齢、住所、連絡先、バス利用希望するかしないかを記入し、下記までＦＡＸ、郵送でお申し込み下さい。

お問合せ・お申込み先

〒960-0185　福島市北矢野目字原田東1-1
　ＪＡふくしま未来　企画部地域支援課
　電話024-573-1004　fax024-529-6638

※参加者には後日詳しいご案内をいたします

※新型コロナウィルスの感染状況により内容の変更・中止になる場合がございます

ＪＡふくしま未来直売所統一「桃まつり」開催

1. 日　　時　令和2年7月23日（木）から8月2日(日)
2. 場　　所　ＪＡふくしま未来　農産物直売所　12店舗
3. 実施内容　**みらいろポイントカードをお持ちの方限定!**
　共選品あかつき5kg箱全階級を200円引きで販売いたします。

皆様のご来店、スタッフ一同心よりお待ちしております。

【お知らせ】

知らないと損する 農業者年金に加入して安心で豊かな老後を

- **60日以上農業に従事する方なら広く加入できます。**
- **保険料は全額が社会保険料控除の対象で大きな節税効果。**
- **一定の要件を満たす方には月額最大1万円の保険料補助。**

農業者年金の特徴

1 農業に従事されている方は広く加入できます

60歳未満の国民年金第１号被保険者（国民年金保険料納付免除者を除く。）であって年間60日以上農業に従事している方は誰でも加入できます。配偶者や後継者など家族農業従事者の方やパートなどで農業に従事されている方も加入できます。

家族一人ひとりの年金を!今、女性の新規加入者が増えています

2 税制面で大きな優遇措置があります

- 支払った保険料は、家族の分も含めて全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税が節税になります（支払った保険料の15%～ 30%程度が節税）。
- 農業者年金基金が保険料を運用して得られる収益は非課税です。
- 将来受け取る農業者年金には、公的年金等控除が適用されます。

つまり生涯を通じて税制上の優遇措置があります

まだまだあります。こんな特長▼

3 終身年金です。80歳までにお亡くなりになった場合、死亡一時金があります

農業者老齢年金は、原則65歳から生涯受け取ることができます。仮に80歳前に亡くなられた場合でも、80歳までに受け取れるはずであった農業者老齢年金の額の現在価値に相当する額を、ご遺族に死亡一時金としてお支払いします。

詳しくは…
農業者年金基金　検索　http://www.nounen.go.jp

農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会かJA または農業者年金基金にお問い合わせください。

独立行政法人農業者年金基金

TEL：**03-3502-3199**（相談員）
TEL：**03-3502-3942**（企画調整室）

野菜をつくろう！

家庭菜園のススメ

ＪＡの営農担当者監修のもと、「これから野菜をつくってみたい！」と考えているみなさんに役立つ情報をお届けします♪

第5回は、カブの間引き についてです！

生育適温は15～20℃と冷涼な気候に適し、暑さと乾燥に弱いが、寒さには強いという特徴があります。春まき（3～4月）と秋まき（9～10月）が一般的な栽培時期です。

品 種

大きさ、形、色（白、赤）がさまざまですが、小カブ品種では、豊円形で耐病性・耐暑性のある「CRもちばな」、低温期に向く扁円球で白さび病にも強い「雪牡丹」、中大カブ取りもできる「スワン」などがあります。紅カブや上半身が赤く細長い日野菜など地方品種もおすすめです。

畑の準備

種まき1～2週間前に1㎡当たり苦土石灰100gをよく混ぜておきます。次に、化成肥料（NPK各成分で10%）150gと堆肥2kgを全面に散布し、よく耕します（図1）。

図1　畑の準備

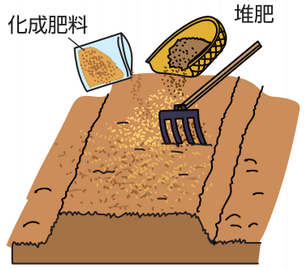
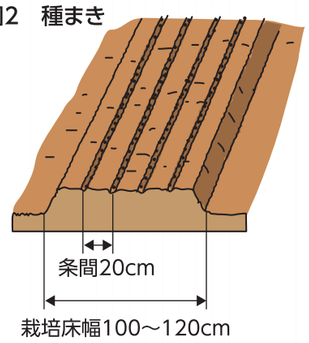


図2　種まき



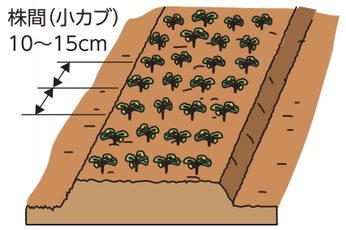
種まき

幅100～120cmの栽培床を作り、深さ1cm程度のまき溝を20cm間隔で4条作ります。溝に1～2cm間隔で種をまき、薄く土を掛けます（図2）。

間引き

発芽し、子葉がそろった時点で、まき過ぎて密になっている部分を間引きます。その後も、込み合ってきたら、生育の悪い株を間引きます。最終的な株間は小カブで10～15cm、中大カブで20cm程度にします（図3）。

図3　間引き



追肥・土寄せ

間引き後は株元へ土寄せして、株のぐらつきを防ぎます。中大カブでは、最後の間引き後に1㎡当たり化成肥料30gを株元に与え、土寄せします。

病害虫の防除

アブラムシには、マラソン乳剤など、アオムシ、コナガにはゼンターリ顆粒水和剤（BT剤）などで防除します。なお、栽培床に寒冷しゃをトンネル状に掛けたり、不織布のべた掛けをすれば、害虫の侵入を防ぎ、風雨から幼苗が守られます。

収 穫

小カブは直径が5cm程度、中大カブは10～15cmが適期で、早く育った株から収穫します。遅くまで置いておくと肥大が進み、す入りや裂根することがあります。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています

園芸研究家●成松次郎

クロスワードパズル

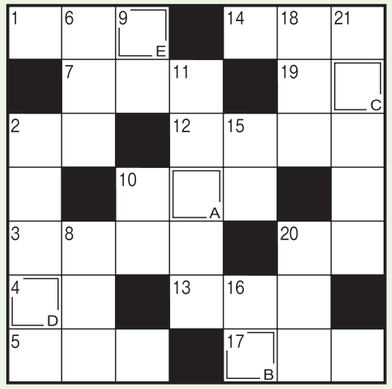
二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

【➡ヨコのカギ】

1　夏の夜空で打ち上げ――が開いた
2　飲ん兵衛（べえ）が好きな物
3　ニッケイの樹皮から作られるスパイス
4　仕事や用事の合間の空いた時間のこと
5　私は――も育ちも東京です
7　ツナ、シーザー、海藻といえば
10　指先の腹側にある筋模様
12　焼き肉のミノ、センマイといえばどこの部位？
13　携帯電話を自分に向けてパシャッ！
14　力士が土俵上で取るもの
17　泳げない人が腰回りにはめます
19　職人さんに握ってもらって食べることも
20　まったく派手ではありません

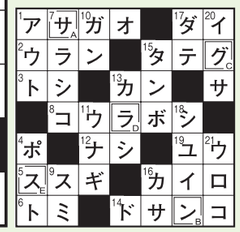
【⬇タテのカギ】

2　香りの良い薬味の一つ。ウナギのかば焼きにも振り掛けます
6　――は人のためならず
8　釣り――と一緒に海に出掛けた
9　宣伝などを書いて通行人に配ります
10　上（かみ）の反対語
11　京都の夏の代表的な行事、――の送り火
15　原稿用紙につづることも
16　10円硬貨に最も多く含まれる金属
18　イスラム教の礼拝堂のこと
20　人の助けを借りずに――で切り抜けた
21　――を引かれる思いでいとまを告げた



正解者の中から抽選で「みらいろオリジナルグッズ」を10名様にお送りさせていただきます。

サ A	ン B	グ C	ラ D	ス E



応募方法

官製ハガキに、①パズルの答え ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥職業 ⑦電話番号 ⑧ＪＡや広報誌に関するご意見、ご要望、地域の話題等を記入の上、下記の宛て先までご応募ください。

【宛 先】
〒960-0185（福島県福島市北矢野目字原田東1-1）
JAふくしま未来「広報誌クロスワードパズル」係

※記載された個人情報は、賞品の発送以外の目的には使用いたしません。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます

応募締切 7月16日(木)（必着）

JAふくしま未来の概要

令和2年5月末現在

組合員数（正）	46,559人
（准）	48,137人
役員数 理事	53人
監事	8人
職員数	1,234人
准職員数	289人
出資金	15,998百万円

事業実績

購買品供給高	3,166百万円
販売品販売高	3,278百万円
貯金高	716,994百万円
貸付金高	188,685百万円
長期共済保有高	2,529,363百万円

編集後記

７月に入りまして、2020年も半分が過ぎましたね。年々時間が過ぎるのが早く感じるようになるとよく聞かれます。理由は諸説ありますが、代謝が悪いと体内時計（心の時計）の進みが遅く感じられ時間が短く感じるそうです。軽い運動で、心も身体もゆったり健康に過ごしましょう！　（塁）

理事会報告

第3回理事会

日時▶令和2年5月26日（火）
場所▶北信支店2階　大会議室

■協議事項

議案第１号　令和元年度行政庁業務報告書の提出について

議案第２号　福島県立医科大学「福島県農産物利用の健康事業の推進」に対する財政支援（寄付）について

議案第３号　ＪＡ福島五連会長改選に伴う役付き役員の選任について

議案第４号　労働施策総合推進法（パワハラ防止法）等の施行に伴う就業規則の一部変更について

議案第５号　福島県常例検査の回答書（案）について

今旬レシピ

季節の野菜の味噌かき揚げ

畑から採りたての新鮮な旬の野菜を使った味噌のかき揚げです。揚げた時に、ふわっと香る味噌の香りが食欲をそそります。ぜひお好みの野菜でお試しください♪

■材　料（2人分）

☆みそ	大さじ2
☆小麦粉	50g
☆米粉	20g
☆水	80cc
○グリンピース	50g
○青シソ	3枚
○新タマネギ	50g
○ニンジン	1/4本
○青トウガラシ	小1本
○インゲン	5本

■作り方

①☆をよく混ぜ合わせます。

②青シソ、ニンジンは千切り、新タマネギは薄切り、青トウガラシ、インゲンは半分に切ります。

③①②を混ぜ合わせ、油で揚げたら完成です。

今月の直売所出荷者さん

味噌は美容と健康に効果的！

相馬市

ふれあい市 加工部会の皆さん

味噌や漬物などの加工品を製造するふれあい市加工部会の皆さん。相馬市内の女性部員が持ち寄った地場産の大豆や米を使用し、平成15年から活動しています。

「しそ巻き」や「豆みそ」など手間ひまがかかる製造工程ですが楽しみながら作業にあたっています。

現在の部会員は6人で、JA農産物直売所ふれあい旬のひろばに出荷しています。

共通イベント情報

ももまつり　7月23日（木）～8月2日（日）

ここら全店	みらい百彩館んめ～べ	こらんしょ市二本松店・本宮店	ふれあい旬のひろば・旬のひろば
お米の日	全国農産物応援フェア	かりんとう販売イベント	旬の味覚の特売
毎週土・日	7月11日（土）12日（日）	7月18日（土）	毎週金・土・日

JAふくしま未来 広報誌 7月号
2020年7月1日発行

JAふくしま未来

ふくしま未来農業協同組合　〒960-0185 福島県福島市北矢野目字原田東1-1
編集：改革推進部広報課　TEL 024-573-7121　URL http://ja-f-mirai.or.jp/